

## 2022年度 岐阜県シニアサッカーリーグ 運営要領

2022年4月17日  
岐阜県シニア委員会

- 1、主催 一般財団法人岐阜県サッカー協会
- 2、主管 同上 シニア委員会
- 3、協力 各地区シニア委員会
- 4、チーム数 (O-40): 8チーム

(O-50): 6チーム

(O-60): 6チーム

- 5、年齢資格 (O-40)選手: 開催年度中に満40歳に到達する選手  
(O-50)選手: 開催年度中に満50歳に到達する選手  
(O-60)選手: 開催年度中に満60歳に到達する選手  
**JFA登録を参加条件とする。**

### 6、加盟チーム

- 目標 **【日本サッカー協会(JFA)が主催する「全日本 O-XX サッカー大会」に繋がるリーグ】**
  - ・JFAに「シニア」登録している単独チームによる編成を目指す。
  - ・リーグ優勝チームが、岐阜県代表として東海予選に出場する。
  - ・シニア年代の選手増に伴い、県リーグ参加チームを増やしていく。

- 現状認識
  - ・O-40,50については、県リーグ参加を希望するチームが出てきており、検討が必要
  - ・O-60は今年度よりサッカーフェスティバル兼第1回県シニアO-60リーグをスタート
  - ・O-60、O-70については、選抜チームで全国シニア大会に出場することが可能であるため、2022年度は、選抜チームを編成して全国シニア東海予選に出場する。**O-60については、2023年度以降、O-40,50同様に、リーグ優勝チームを県代表とする。ただし、O-40、50とは異なり、他のチームからの補充も可とする。**
  - ・O-60については、**ねんりんピックの出場資格があり、次の順番で一巡し、その後の状況で再度出場方法を検討する。**  
**2022年度(FC各務原)→2023年度(飛騨FC60)→2024年度(東濃シニア60)→2025年度(岐阜OB60)→2026年度(西濃シニア)→2027年度(kawasaki60)**  
※開催県となった場合に付与される開催枠は、特別枠として考え、輪番制に影響しない。(2022年4月3日 O-60シニア会議で決定)
  - ・グラウンドの確保が困難である。
  - ・グラウンド使用料金の値上げに伴い、チーム参加料を引き上げる必要がある。

### 7、チームの入れ替えについて

- (1)各地区からの加盟チーム数
  - ①**O-40、O-50**は各地区から最低(1)チームは加盟する事とする(絶対条件)。  
**O-60についても各地区から最低1チーム参加出来る様に努力する。**
  - ②複数加盟している地区から辞退チームが出れば、当該地区にて補充する。
- (2)入れ替えについて  
**選抜を組んでいる地域や、地区をまたいで複数出場している選手もいることから、入れ替えについては、各地区のルールによる。**
- (3)複数加盟している地区のチーム構成について
  - ①当該地区の決定による。

### 8、棄権チームの取扱い(棄権チームの取扱いについて、8項を追加する。 2017年2月7日)

- 岐阜県シニアサッカーリーグ 実施要項 第17項(4) に規定する棄権チームの取扱いについて定める。
- ①棄権チームは、原則として次年度は県リーグから「降格」とする。但し、当該年度は全試合を実施する。  
棄権試合は当該年度全試合中の最大得点差スコアとして処理し、年間順位を付与する。
- ②降格したチームの入れ替えは、上記7項の入れ替え基準に従う。